

災害の概況

(令和 7 年)

鳥取県西部広域行政管理組合
消 防 局

目 次

(ページ数)

I 火災概況

1 火災件数と死傷者数	1
2 出火状況	2
3 市町村別火災状況	3
4 出火原因	4

II 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況	5
2 市町村別救急活動状況	6
3 傷病程度別搬送状況	7
4 年齢別搬送状況	7
5 署所別救急活動状況	8
6 月別救急活動状況	8
7 現場到着所要時間、収容所要時間	9
8 市町村別救急活動の推移	10

III 救助概況

1 事故種別救助出動状況	11
2 事故種別救助活動状況	11
3 事故種別救助人員状況	12
4 管轄別救助活動状況	12
5 市町村別救助活動状況	13
6 月別救助活動状況	13

IV 119番着信概況

1 119番通報の着信件数の内訳	14
2 月別119番通報の着信件数の内訳	14
3 電話種別による119番通報の着信状況	15
4 119番通報の転送状況の内訳	16
5 時間帯別119番通報の着信状況	16

注: 本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

I 火災概況

1 火災件数と死傷者数

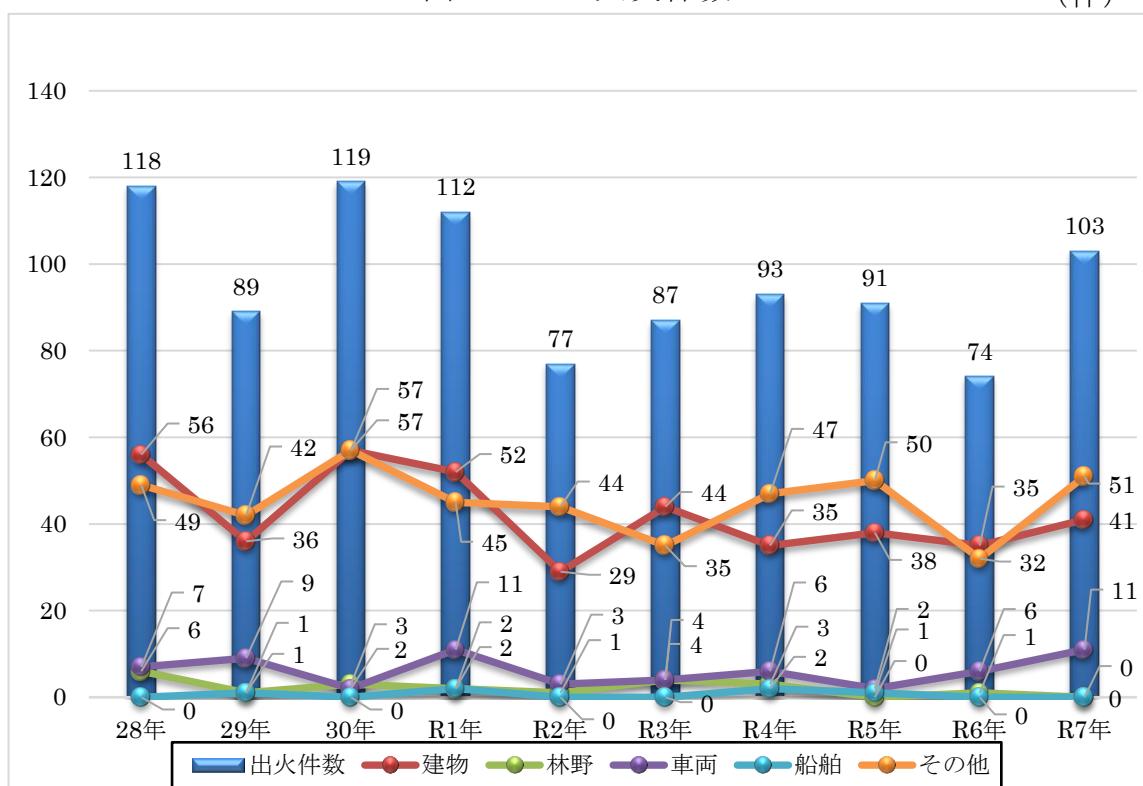
令和7年は103件で、前年と比較し29件増加しました。103件のうち、建物火災が41件(39.8%)を占め、7割が住宅から発生しています。

この10年間の火災件数をみると、平均して100件前後で推移していますが、令和7年の火災件数は、前年と比較し大幅な増加を示しました。

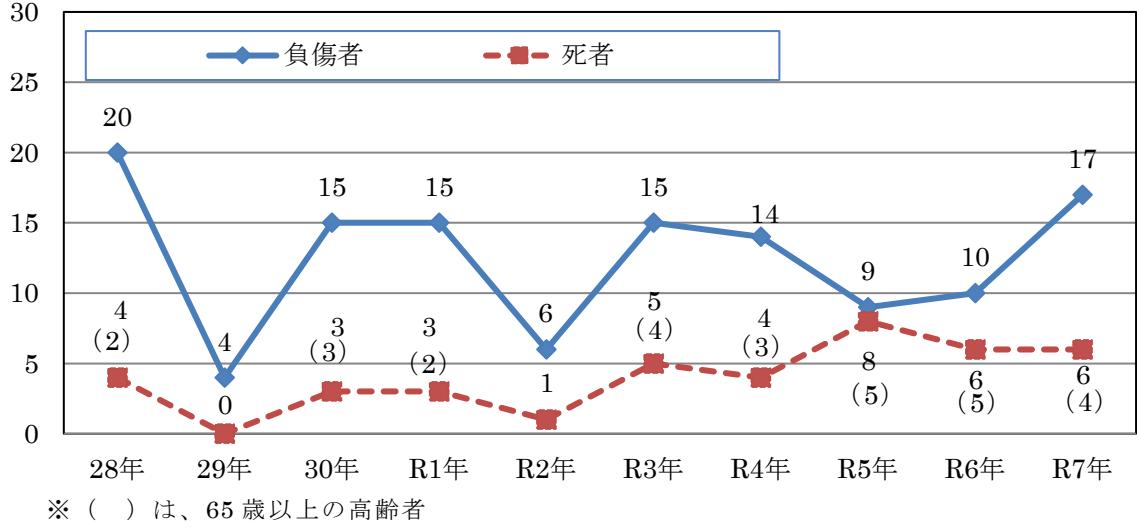
火災による死者は6人で、負傷者は17人でした。

死者6人のうち、4人が65歳以上の高齢者で66.7%を占めています。

図I-1 火災件数 (件)



図I-2 死傷者数 (人)



※ () は、65歳以上の高齢者

2 出火状況

令和 7 年中の火災件数の構成比率をみると、その他火災が 49.5% で最も高い比率を占め、その次に建物火災が 39.8% となっています。

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、建物火災は 41 件で 10 月、11 月に多く発生し、その他火災は 51 件で 7 月だけで 13 件発生しています。

図 I - 3 火災種別件数

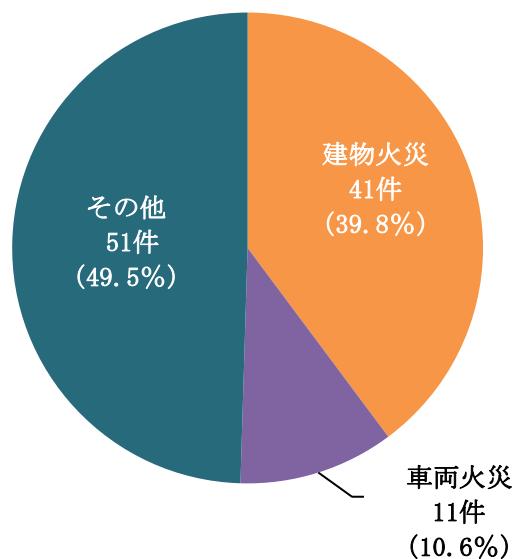
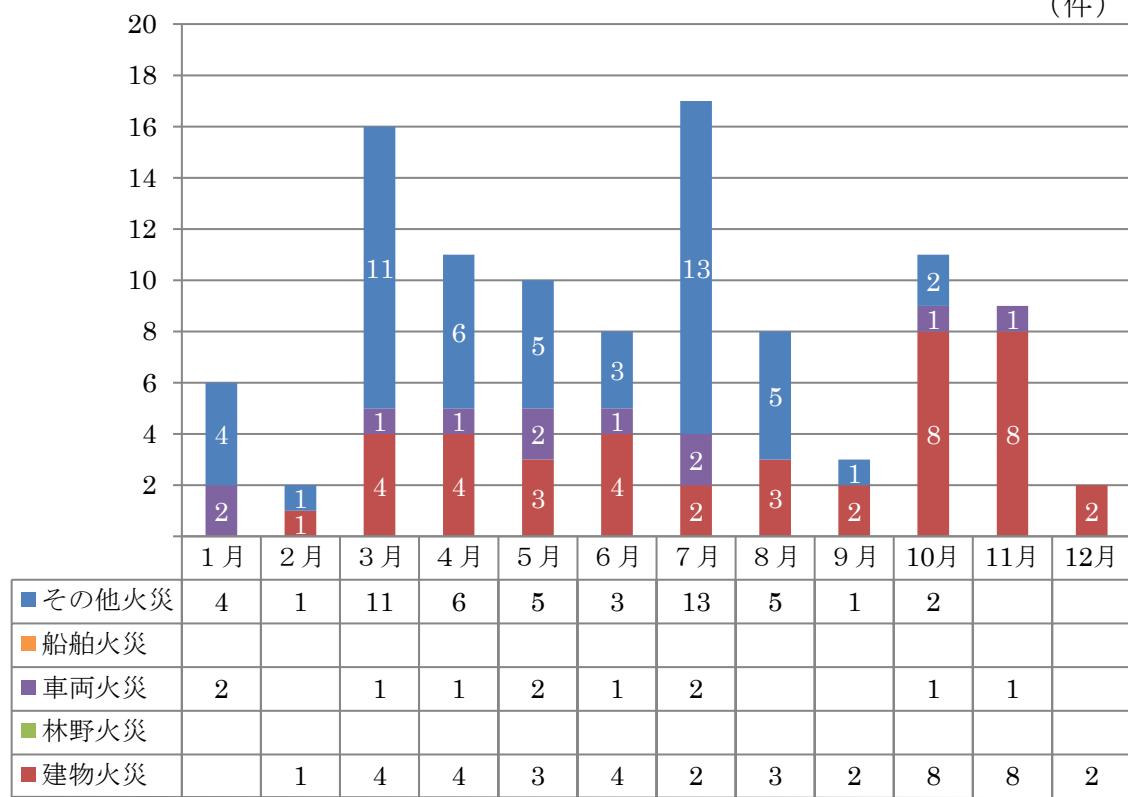


図 I - 4 月別の火災発生状況 (件)

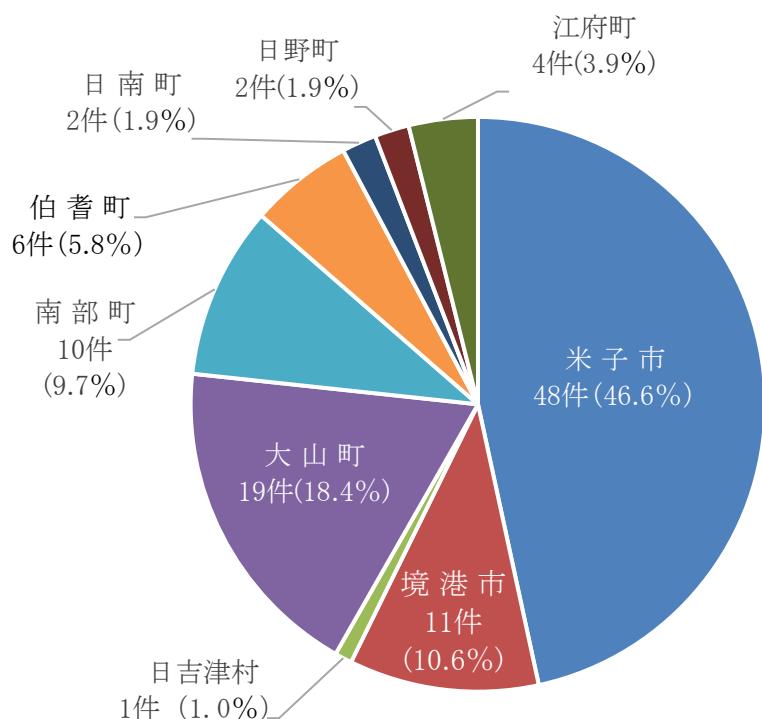


3 市町村別火災状況

令和7年中の火災件数を市町村別でみると、米子市が48件(46.6%)と最も多く、次いで大山町19件(18.4%)、境港市11件(10.6%)、南部町10件(9.7%)となりました。

火災による損害額は、南部町が24億3,523万9千円と最も多く、次いで米子市、大山町となりました。

図I-5 市町村別火災件数



別表I 損害額の状況

市町村名	火災件数						焼損面積			損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 m ²	表面積 m ²	林野 a	
米子市	48	21		6		21	2,141	154		121,222
境港市	11	3				8				15,568
日吉津村	1	1					10			332
大山町	19	8		5		6	2,571	204		59,396
南部町	10	3				7	11,998			2,435,239
伯耆町	6	3				3	126			4,469
日南町	2	1				1	74			1,876
日野町	2	1				1	333			25,841
江府町	4					4				
合計	103	41		11		51	17,253	358		2,663,943

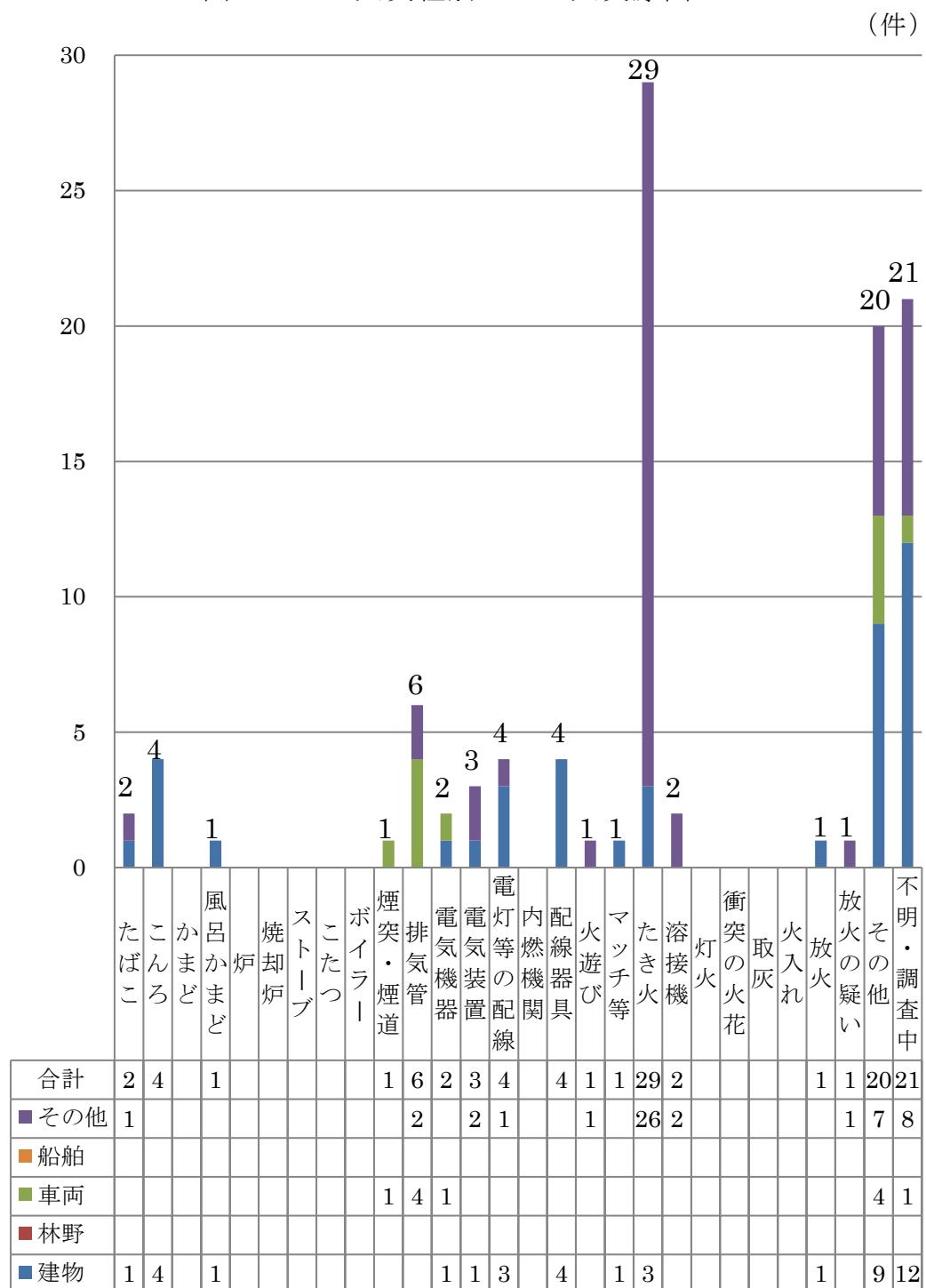
4 出火原因

令和7年中の出火原因をみると「たき火」が29件と最も多く、次いで「不明・調査中」が21件、「その他」が20件、「排気管」が6件、「こんろ」「電灯等の配線」「配線器具」がそれぞれ4件となっています。

前年と比較し「たき火」、「その他」が増加、「たばこ」、「ストーブ」、「放火」による出火原因が減少しました。

「その他」の主なものは、「火のついたゴミ」、「間接雷」によるものなどです。

図 I - 6 火災種別ごとの火災原因

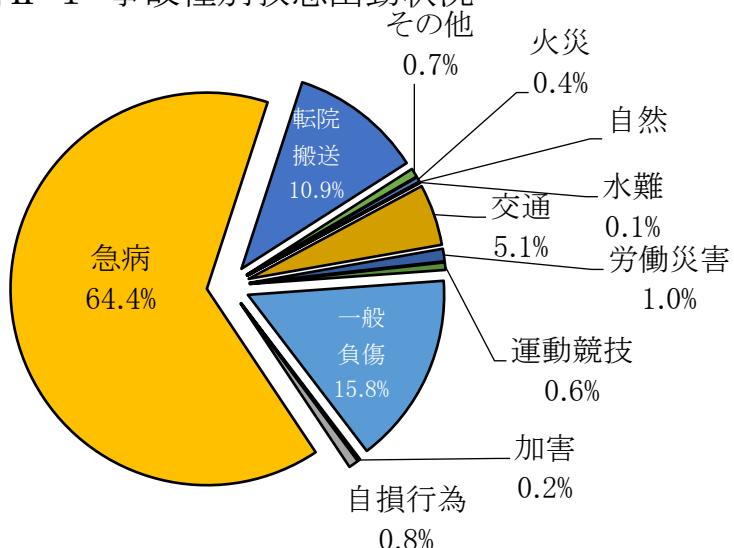


II 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況

令和7年中の救急出動件数は、前年に比べて517件増の13,751件、搬送人員は567人増の12,906人でした。

図II-1 事故種別救急出動状況



図II-2 事故種別救急搬送状況

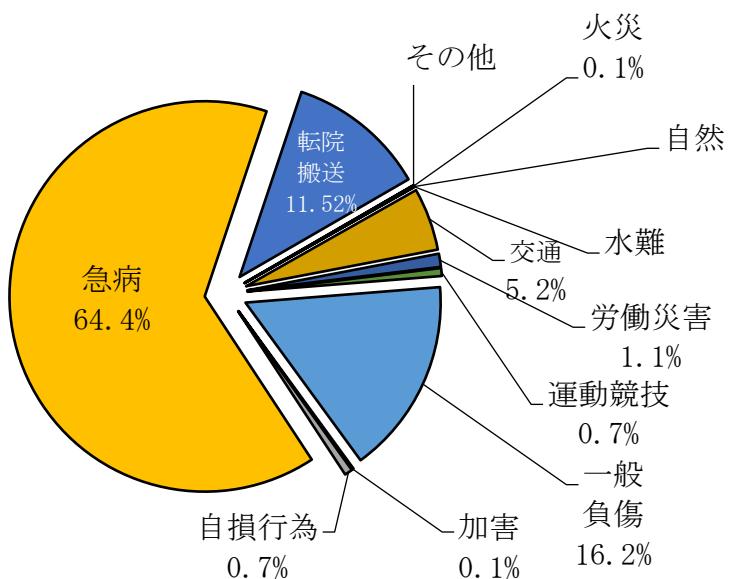
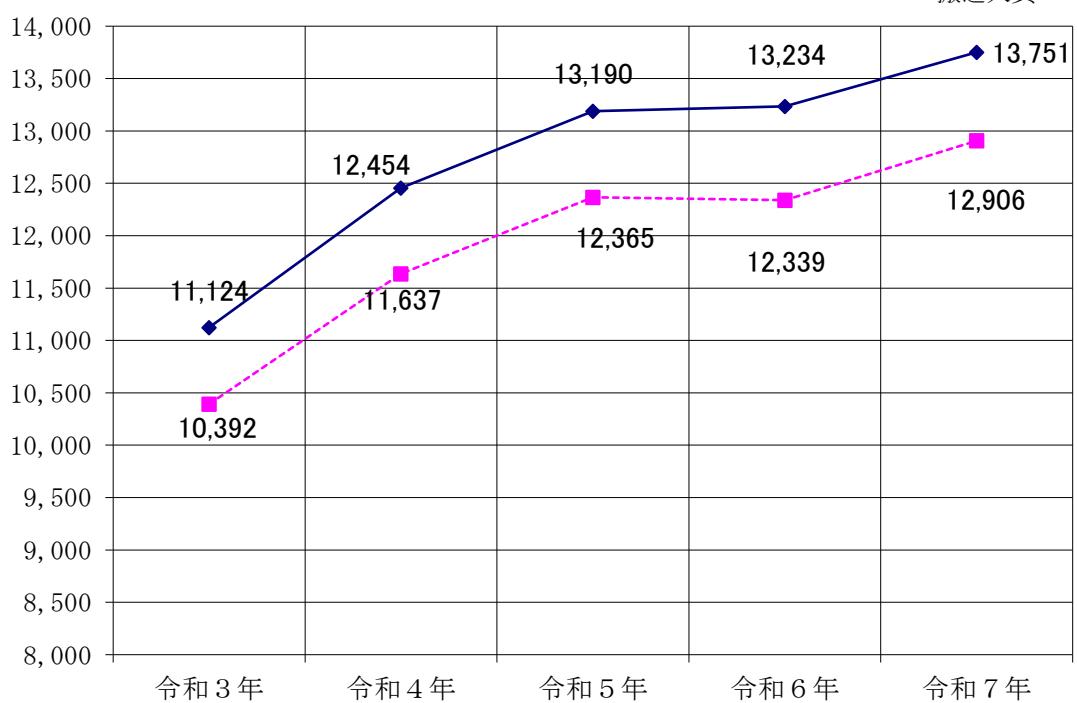


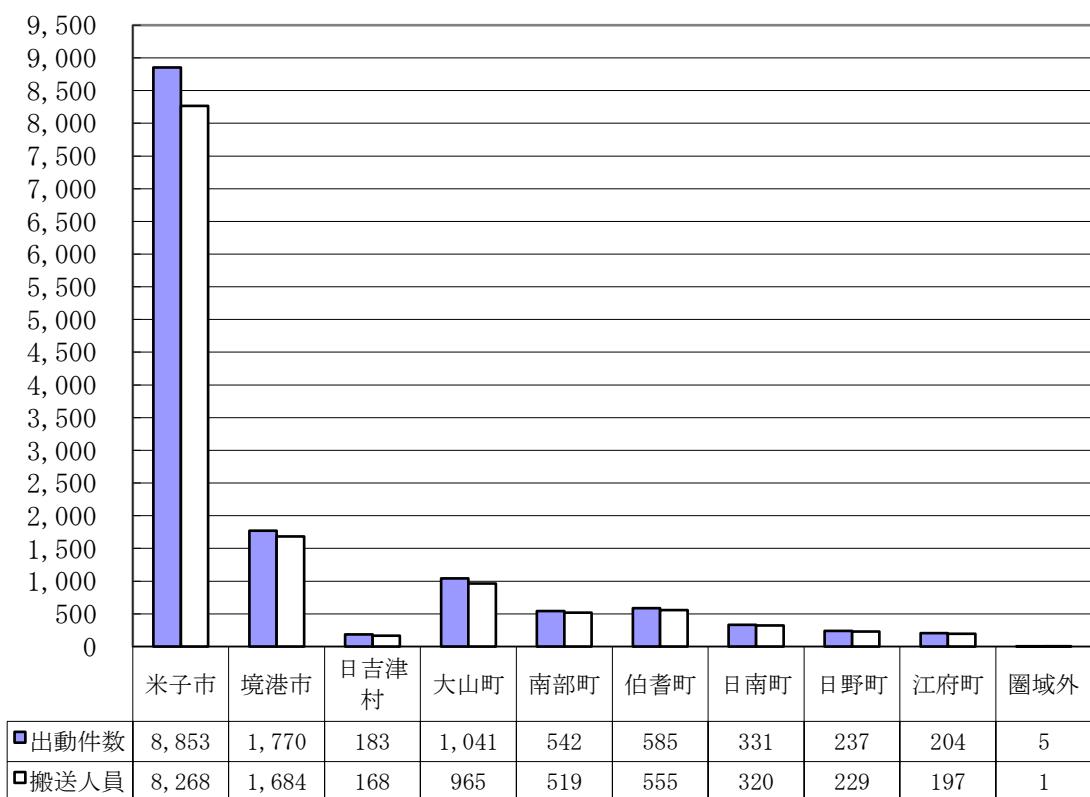
図 II-3 過去 5 年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

令和7年中は米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町で救急件数が増加し、その他の市町村は減少しました。

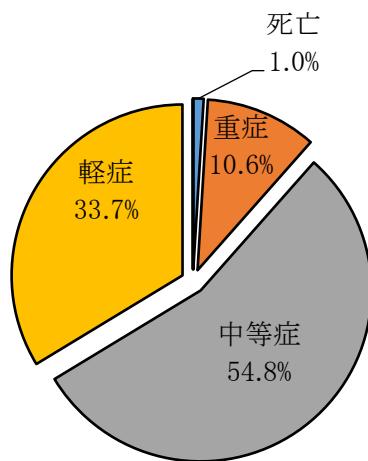
図 II-4 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が 7,073 人 (54.8%) で最も多く、次いで軽症が 4,345 人 (33.7%)、重症が 1,362 人 (10.6%) となっています。

図 II-5 傷病程度別搬送状況

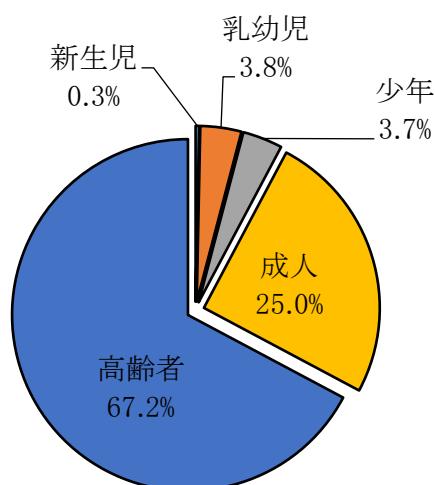


程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
搬送人員	125	1,362	7,073	4,345	1	12,906

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65 歳以上の高齢者が 8,675 人 (67.2%) と最も多くなっています。

図 II-6 年齢別搬送状況

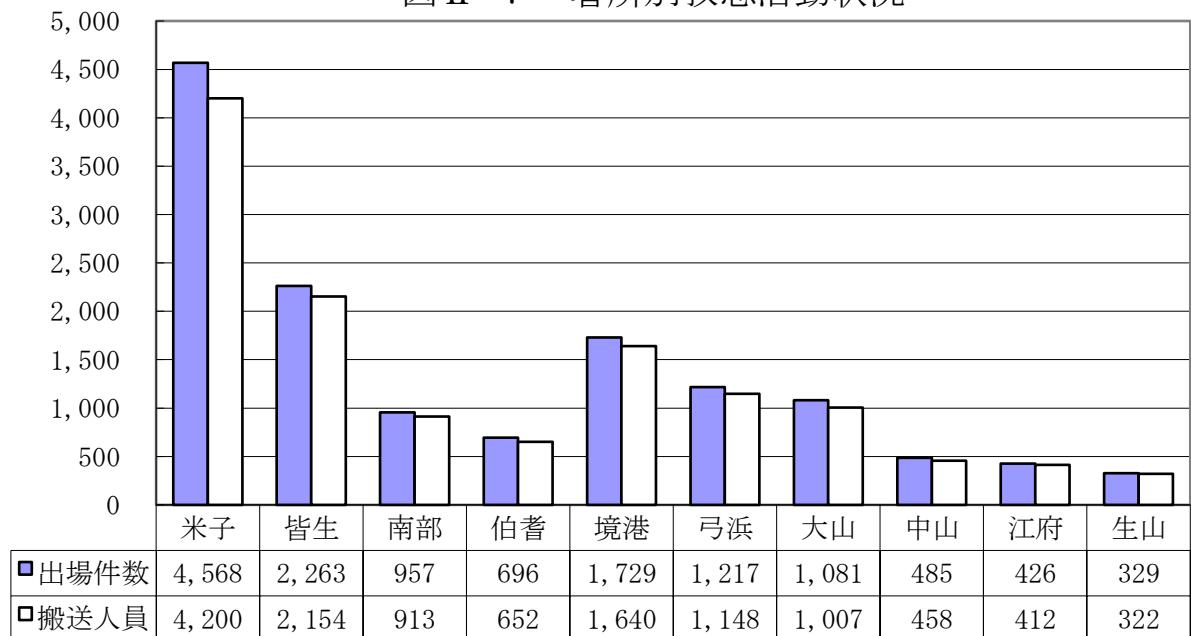


区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
搬送人員	42	487	473	3,229	8,675	12,906

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ 4,568 件 (33.2%)、4,200 人 (32.5%) と最も多くなっています。(図 II-7 参照)

図 II-7 署所別救急活動状況

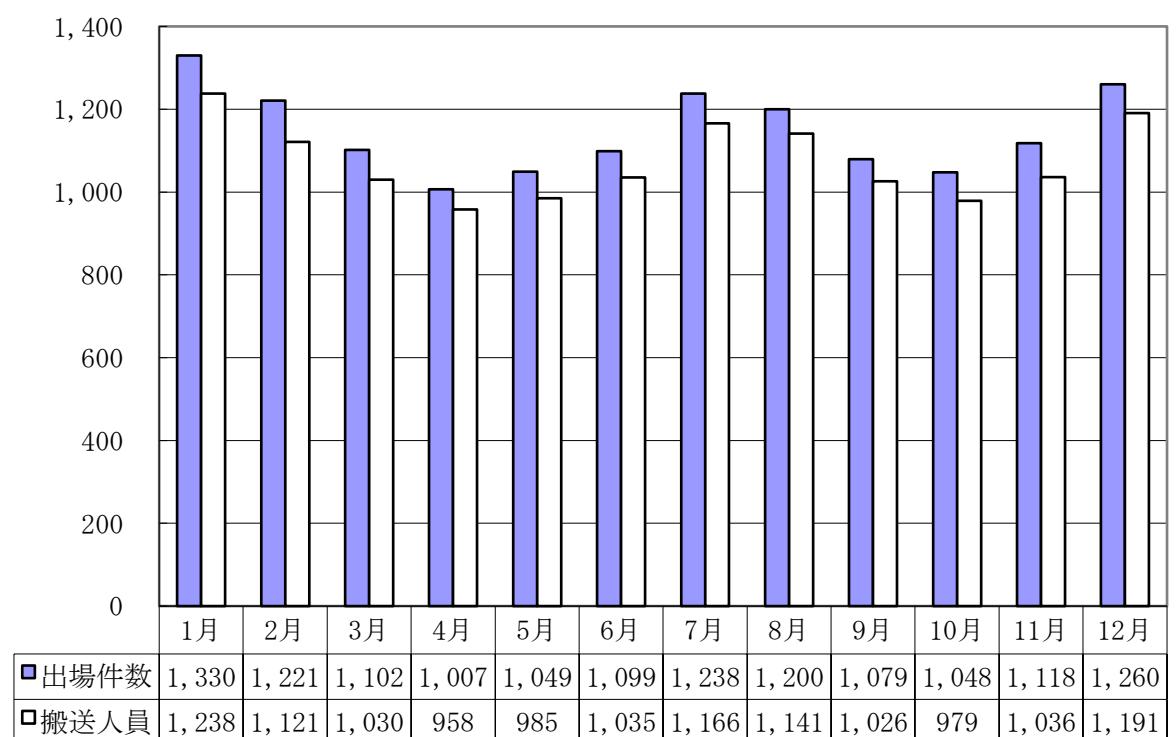


6 月別救急活動状況

月別の最多出動件数は、1月が 1,330 件 (9.7%)、続いて 12 月の 1,260 件 (9.2%)、7 月 1,238 件 (9.0%) となっています。

搬送人員は、1月が 1,238 人 (9.6%) で最も多く、続いて 12 月の 1,191 人 (9.2%)、7 月 1,166 人 (9.0%) となっています。(図 II-8 参照)

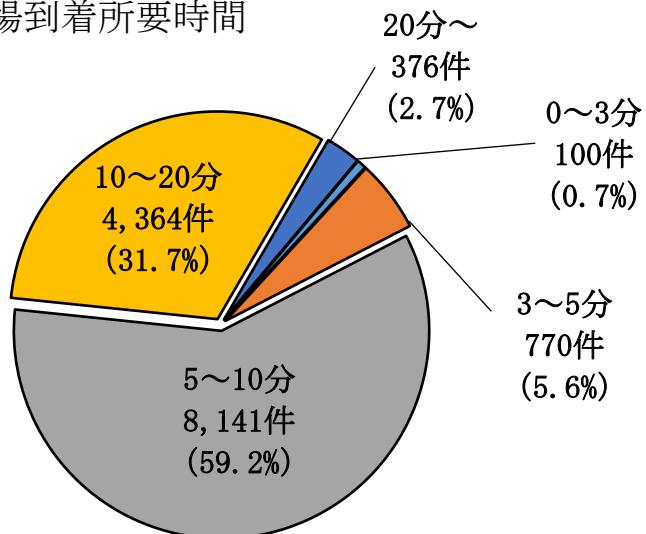
図 II-8 月別救急活動状況



7 現場到着所要時間、収容所要時間

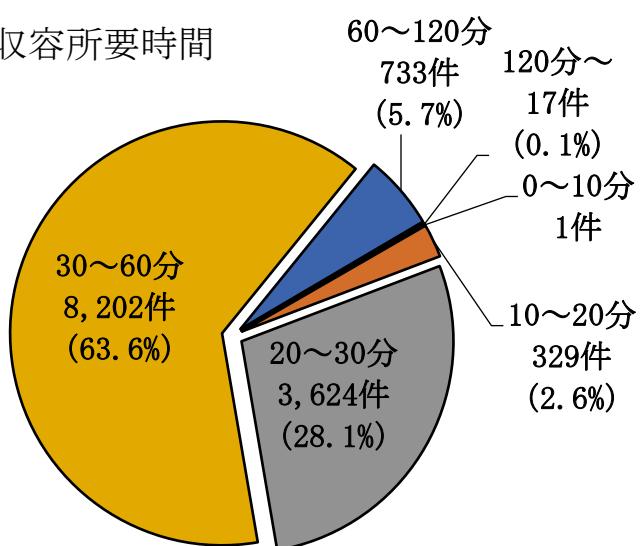
平均現場到着所要時間は9分9秒で昨年より27秒減少し、平均収容所要時間は38分3秒で昨年より15秒減少しました。

図 II-9 現場到着所要時間



現場到着 所要時間	0～3分	3～5分	5～10分	10～20分	20～	合計
件数	100	770	8,141	4,364	376	13,751

図 II-10 収容所要時間



現場到着 所要時間	0～10 分	10～20 分	20～30 分	30～60 分	60～120 分	120分～	合計
件数	1	329	3,624	8,202	733	17	12,906

8 市町村別救急活動の推移

過去5年間の救急件数の推移を見取ることができます。

別表II－1 過去5年間の市町村別救急件数

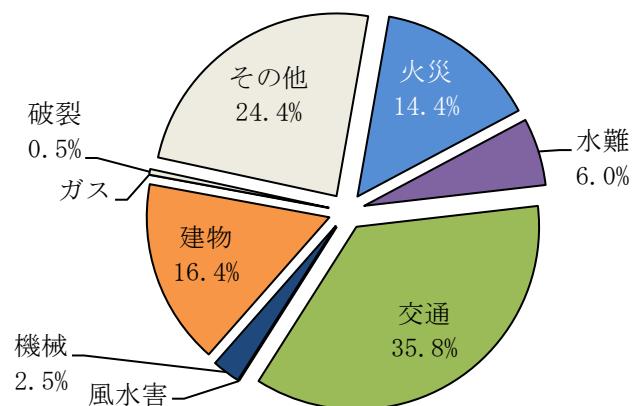
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
米子市	件数	7,008	7,920	8,380	8,404	8,853
	搬送人員	6,529	7,358	7,816	7,784	8,268
境港市	件数	1,476	1,684	1,839	1,859	1,770
	搬送人員	1,391	1,596	1,732	1,772	1,684
日吉津村	件数	152	213	163	194	183
	搬送人員	147	203	156	186	168
大山町	件数	822	894	913	964	1,041
	搬送人員	764	838	863	899	965
南部町	件数	450	480	528	502	542
	搬送人員	414	450	500	465	519
伯耆町	件数	500	526	571	568	585
	搬送人員	463	499	544	539	555
日南町	件数	325	320	344	324	331
	搬送人員	307	301	325	303	320
日野町	件数	160	219	208	208	237
	搬送人員	158	208	194	195	229
江府町	件数	218	186	238	208	204
	搬送人員	206	175	232	195	197
圏域外	件数	13	12	6	3	5
	搬送人員	13	9	3	1	1
合計	件数	11,124	12,454	13,190	13,234	13,751
	搬送人員	10,392	11,637	12,365	12,339	12,906

III 救助概況

1 事故種別救助出動状況

令和7年中の救助出動件数は201件で、交通事故が72件（35.8%）で最も多く、次いでその他の事故が49件（24.4%）、建物等による事故33件（16.4%）の順となっています。

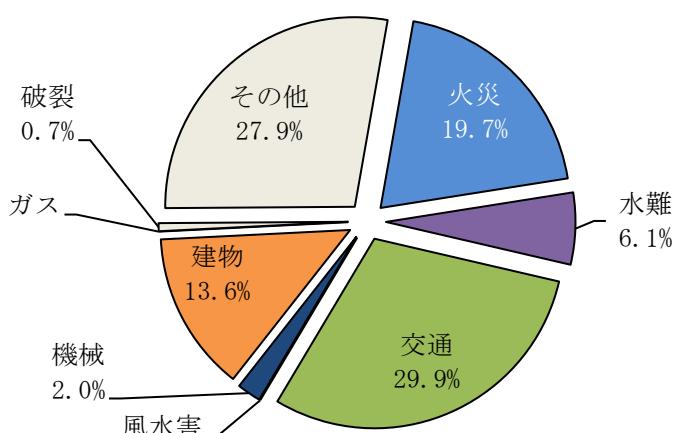
図III-1 事故種別救助出動状況



2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は147件で、交通事故が44件（29.9%）で最も多く、次いでその他の事故が41件（27.9%）、火災が29件（19.7%）の順となっています。

図III-2 事故種別救助活動状況

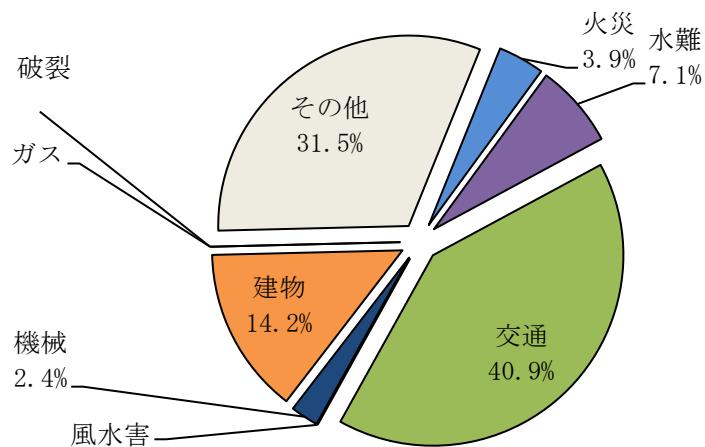


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	29	9	44	0	3	20	0	1	41	147

3 事故種別救助人員状況

令和7年中に救助活動により救助された人員は127人で、交通事故が52人(40.9%)と最も多く、次いでその他の事故が40人(31.5%)、建物等による事故が18人(14.2%)、水難事故が9人(7.1%)の順となっています。

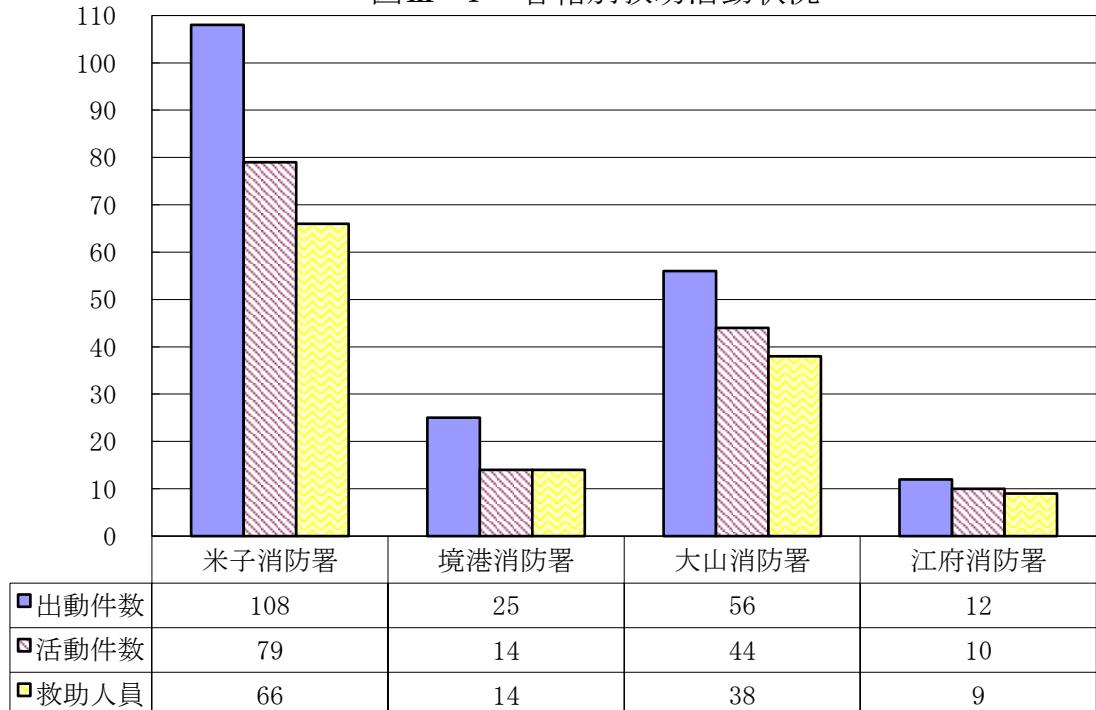
図III-3 事故種別救助人員状況



4 管轄別救助活動状況

令和7年中の管轄別出動件数は、米子消防署が108件(53.7%)と最も多く、次いで大山消防署が56件(27.9%)、境港消防署が25件(12.4%)、江府消防署12件(6.0%)の順となっています。

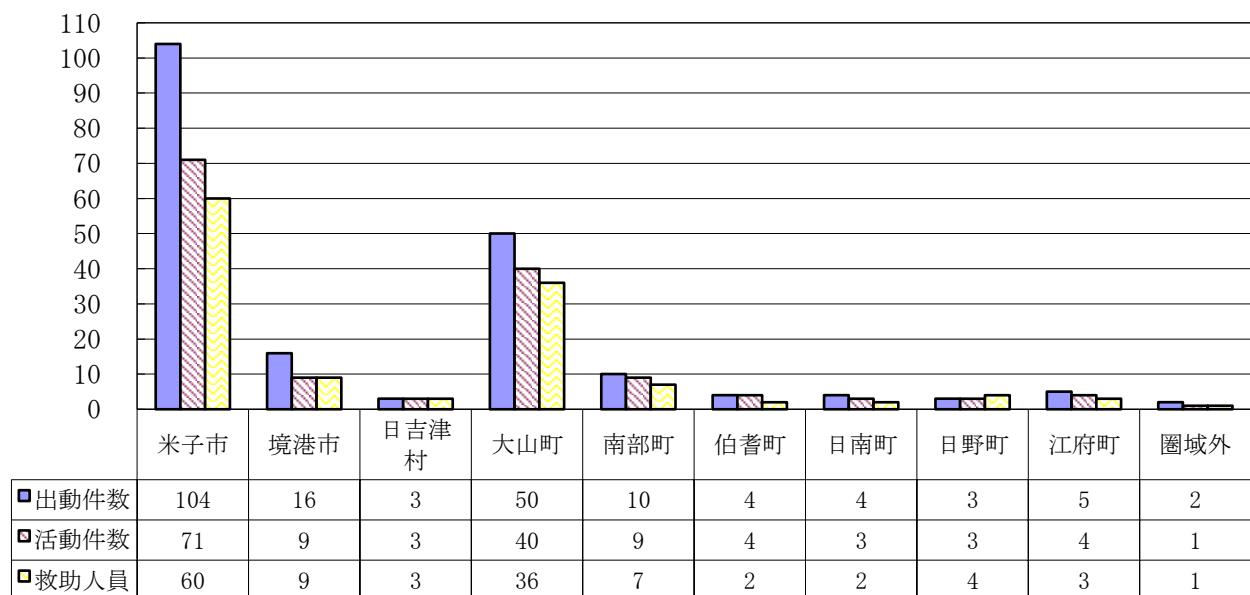
図III-4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

令和7年中の市町村別出動件数は、米子市が104件（51.7%）と最も多く、次いで大山町が50件（24.9%）、境港市が16件（8.0%）の順となっています。

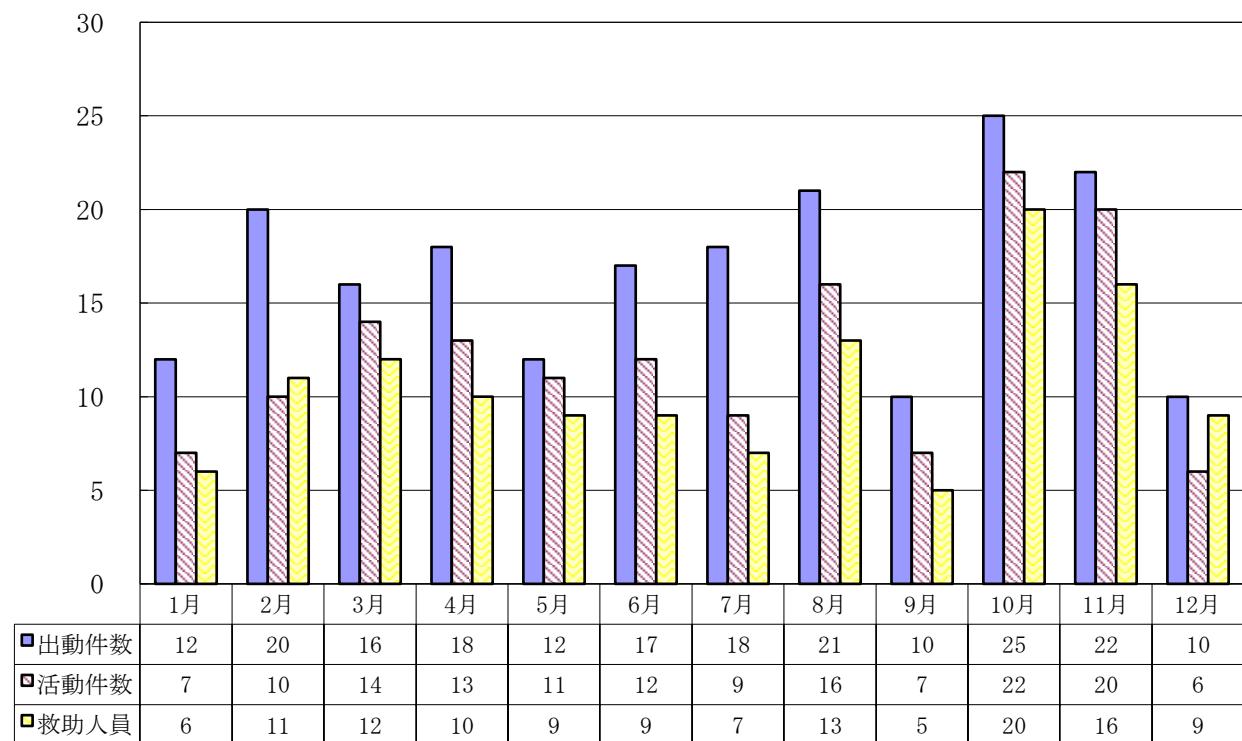
図III-5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別救助出動件数は、10月が25件（12.4%）と最も多く、次いで11月が22件（10.9%）、8月が21件（10.4%）の順となっています。

図III-6 月別救助活動状況

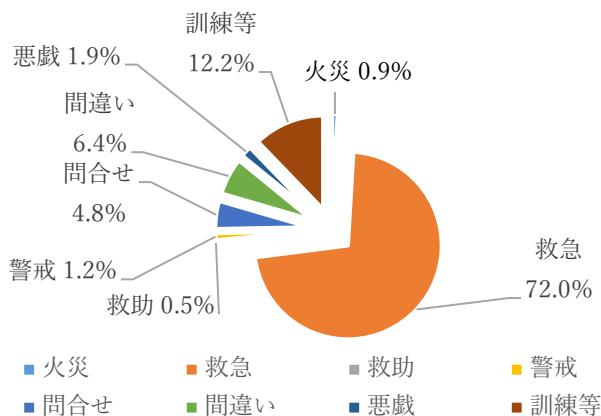


IV 119番通報着信概況

1 119番通報の着信件数の内訳

令和7年中の総着信件数は18,105件で、前年に比べ541件増加となりました。着信種別の内訳は、救急が13,041件で最も多く、次いで、警戒216件、火災170件、救助97件となっており、これらの緊急を要する着信は、総着信件数の74.7%を占めています。また、訓練等を除く「問合せ、間違い及び悪戯（いたずら）」といった緊急を要さない着信は2,371件で、総着信件数の13.1%となっています。

表IV-1 着信件数内訳【%】



緊急着信 [13,524]				非緊急着信 [2,371]			訓練等	総着信件数
火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯		
170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

2 月別119番通報の着信件数の内訳

令和7年中の月平均着信件数は、約1,509件で、1日あたり約49件の119番通報を着信しています。

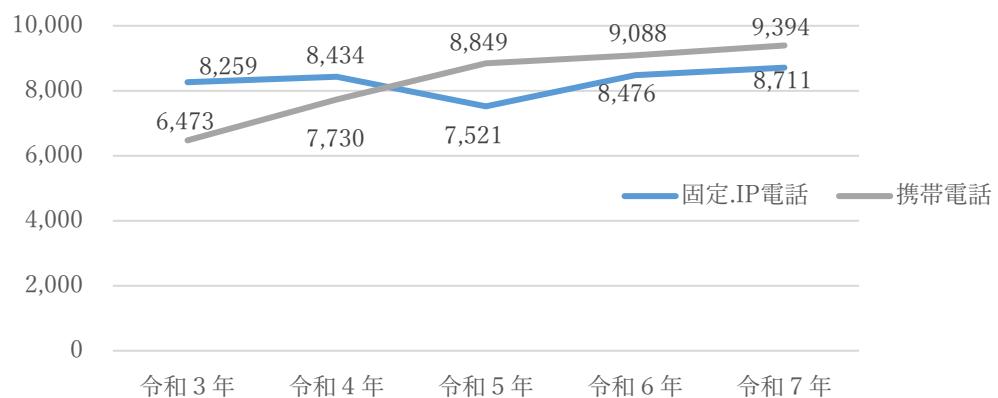
表IV-2 月別119番通報着信状況【件】

月別	火災	救急	救助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	10	1,265	9	12	83	95	10	130	1,614
2月	3	1,151	13	12	78	95	83	137	1,572
3月	24	1,053	8	14	81	106	86	224	1,596
4月	11	952	10	10	54	86	58	154	1,335
5月	18	991	5	13	69	95	34	170	1,395
6月	30	1,049	3	13	78	93	17	223	1,506
7月	19	1,184	7	22	58	93	7	166	1,556
8月	15	1,118	7	35	78	98	7	130	1,488
9月	3	1,025	4	19	58	99	10	179	1,397
10月	17	984	13	17	63	108	18	225	1,445
11月	17	1,075	8	21	66	85	2	303	1,577
12月	3	1,194	10	28	106	101	13	169	1,624
月平均	14	1,087	8	18	73	96	29	184	1,509
合計	170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

3 電話種別による 119 番通報の着信状況

令和 7 年中の「電話種別による 119 番通報着信数の推移」をみると、固定・IP 電話の着信数は、8,711 件で、前年と比べ 235 件増加し、過去 5 年間で最も多く着信しています。また、携帯電話による着信数は、9,394 件で令和 3 年から右肩上がりに増加しています。なお、携帯電話による着信数が令和 3 年から急増していることに比べ固定・IP 電話の着信件数は、ほぼ横ばいとなっています。

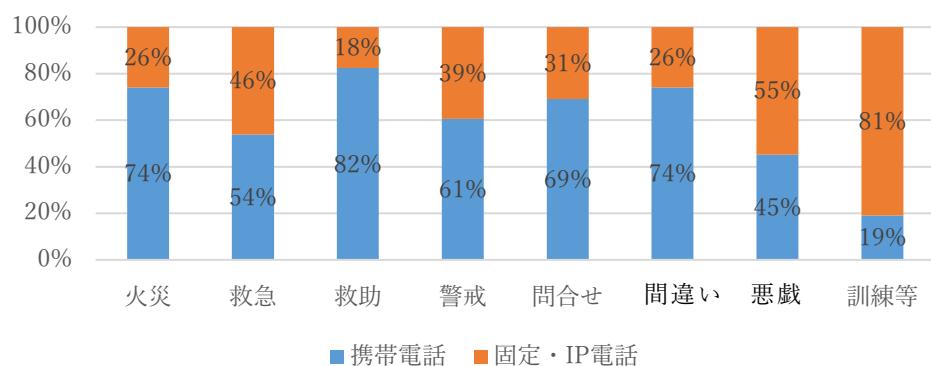
表IV-3 電話種別による119番通報着信数の推移【件】



項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
固定・IP 電話	8,259	8,434	7,521	8,476	8,711
携帯電話	6,473	7,730	8,849	9,088	9,394
合計【件】	14,732	16,164	16,370	17,564	18,105

令和 7 年中の「電話種別による着信状況」をみると、訓練等を除いた電話種別は、携帯電話による着信が半数を超える状況となっています。

表IV-4 電話種別による着信



項目	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP 電話	44	6,019	17	85	269	300	189	1,788	8,711
携帯電話	126	7,022	80	131	603	854	156	422	9,394
合計	170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

4 119番通報の転送状況の内訳

西部消防局で着信した119番通報を、緊急出動を必要とする管轄の消防機関に転送発信した件数は108件となります。また、西部消防局が管轄している地域で発生した事案で、他の消防機関から転送着信した件数は84件となっています。

表IV-5 携帯電話からの着信状況【件】

西部消防局管轄内で発生した事案の着信件数			他の消防機関へ 転送発信数
管轄内事案で携帯電話 による着信数	他の消防機関から 転送着信数	携帯電話 着信数	
9,310	84	9,394	108

表IV-6 携帯電話の消防機関別転送状況【件】

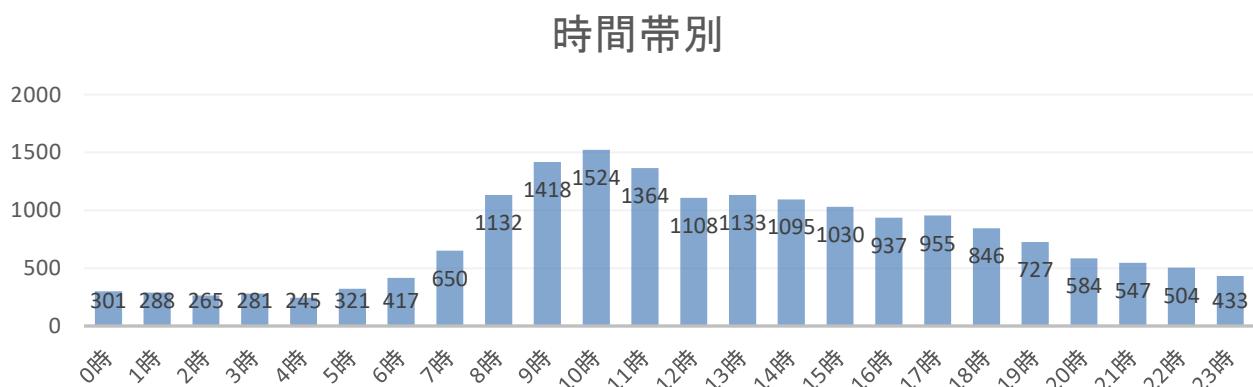
	他の消防機関から転送着信した件数				他の消防機関に転送発信した件数				
	火災	救急	その他	合計	松江	火災	救急	その他	合計
松江		9	2	11	松江	4	26	3	33
安来		48	2	50	安来	1	24	1	26
雲南		2		2	雲南		1		1
東部		5	1	6	東部	5	7	1	13
中部		5		5	中部	5	10		15
(その他) 遠隔地通報		9	1	10	(その他) 遠隔地通報	1	18	1	20
合計	0	78	6	84	合計	16	86	6	108

(※ 遠隔地通報とは、隣接しない他の消防機関から転送着信または転送発信することをいう。)

5 時間帯別119番通報の着信状況

令和7年中の「時間帯別119番通報着信状況」を見ると、最も多かった時間帯は10時台となりました。反対に最も少なかった時間帯は4時台となりました。

表IV-7 時間帯別119番通報着信状況【件】



【総着信数 18,105件】

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

2025年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド

050-5846-9907

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消防局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市上福原313番地1	683-0004	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町大字武庫125番地1	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災	予防課予防担当	0859-35-1954
救急	警防課救急室	0859-35-1959
救助	警防課消防第一担当	0859-35-1957
119番着信状況	指令課指令担当	0859-35-1960

令和8年2月発行
〒683-0853 米子市両三柳5452番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局
TEL 0859-35-1951 (代)